

新人のプロフィール

統計課の人事異動については、4月号の「伝言板」でお知らせいたしました。このなかで、新たに統計課勤務となられた方々に、自己紹介を兼ねてご執筆いただきましたのでご紹介いたします。



人間関係の改善

課長補佐(総括)
大谷 三雄

今年も例年同様新採を含め定期異動により微笑み悩み怒りの中で約二千人の人が新しい職場に変わっていった。そこで新しい職場での人間関係について述べてみたい。

職場は生活の大切な場であることは言うまでもないが、職場には大なり小なりの問題点等がある中で、いやおうなしに離脱することができない。そのために一人一人が精神状態を健康に保ち安定した職場をつくるよう心掛けねばならない。

普通の健康の人は自分の属する職場集団の中に入ると、一人で溶け込む作用を持っているといわれているが、職場集団はそれぞれ特有な組織と秩序があり、これが壁となって、ややもすれば融合できにくい者もある。そこで職場を良くしていくには、第一には人間関係である。そこで人間関係を良くするためにはいろいろな方法があると思うが、ここである精神科の先生の意見を紹介しますと、自分の精神を健康な姿にすることを心掛け、その立場から「自己変革」ということが大切で自分の在り方、自分の姿勢を变ることにより暗かった相手との間が明るくなること、また「要求水準」の変革も大切なことで、自分の能力や職場の現状と睨んで高すぎても低すぎても対人関係につまずいて職場の安定を害し、うっかりすると誤った先入観念で人を見る場合もあるので、「認知構造」を是正することにより別な明るい対人関係が生まれ変わる場合もあるということ。

このように各自が忘れずに持たねばならぬ大切な一つの鍵で、こうした職場の要員が柔軟性を持って明るく交歓を交わり合う在り方を心掛けたいものである。



夢

庶務担当主事
中嶋 定信

世間の波におされ、始めたゴルフが今は一番やりたいスポーツになってしまった。明日はコースに出るとなるとそ

わそわし、なかなか寝つかれない人がいるそうであるが、私もその一人。その時は酒の力を借り酔ったいきよいで寝てしまう。そのためか時々こんな夢を見る。

緑と花のオーガスタ(マスターズトーナメント開催GC)のクラブハウスの前にドイツ製の高級車が止まり、日本のブランド製品を身につけた、一見ゴルフなどやりそうな小柄な男がおりた。それが私だ。…そして400ヤード、パー4の一番ティーグラウンドに立つ。ほとんどストレートで奥のグリーンがまぶしく見える。ドライバーを持ちティーアップして思い切りショットする。そこで無情にも目が覚める。これがゴルフを始めて3~4年になる私の、今はかない夢なのかもしれない。

ゴルフは三つの「C」が必要だといわれる。Concentration(精神集中)、Confidence(自信)、Control(自己管理)のことだが、これはどんなスポーツでも同じであろう。またゴルフはピンに向かってボールを打っていくが、後を振り返る余裕があれば本物といわれる。

統計課に勤務して1か月足らずで、混迷している毎日ですが、仕事のうえでも振り返り、もう一度考える余裕と自信を一日も早く持ち一人前になりたいと願っています。



私と家庭菜園

庶務担当技師
小林 昇

30年近く作文などに縁のなかった私が、今度一言文章を書かねばならなくなった。さていざ書こうとなると、何を書いて良いか、いっこうに見当がつかない。そこで、私の唯一の趣味である家庭菜園をほんの少しだけ紹介してみようと思う。ねこの額ほどの畑であるが、毎年春の彼岸があけると私は急に忙がしくなる。中古で買った耕うん機でその畑を何回も何回もかき回す。今年は思い切ってビニールハウスをたてた。早速日曜日に、きゅうりの苗を植えたり、いろいろな野菜の種をまいた。そして毎朝、皆が寝ているうちに起き出して、水やりをするのは朝のすがすがしい空気を胸一杯に吸いこんで、本当に気持が良い。そして春は庭のすみの、梅、桃、りんごなどの花が咲き、秋にはたく

〈喫煙室〉

さんの実をつける。子供達が喜ぶだろうと植えたのだが、大きくなるといっこうに喜んだ様子もみえない。

今年も、もうすぐ、りんご、桃、プラムなどの花が咲き始める。この家庭菜園は、これから先もずっと私の唯一の楽しみになるだろう。



統計課に赴任して

統計指導担当主査
松崎 節

今回の人事異動で統計課へ勤務することになりました。初めての経験ですが、よろしくお願ひいたします。

さて、趣味、話題に乏しく担当の方から何か一筆と言われ、考えながら窓から外の風景を見ていました。「そうだ2年前勤務していた弘道館公園があるではないか」と思い、偕楽園公園は全国三大公園として全国に知れ渡っておりますが、この弘道館公園は県内の方々もあまり知ってない方もおられるので、この冊子をとおし紹介させていただきます。

弘道館公園は昔、水戸家重臣12名の屋敷地に弘道館という学校を建設し、藩士及び子弟の勉強の場所でした。

1841年開校から150数年たった現在、主な建物は正門、正庁、至善堂、孔子廟があり、西には鹿島神社、要石、学生警鐘などがあり、その回りに800余本の梅が3月には見事に咲き、偕楽園とはまた一つ異なった風景が見られます。また水戸駅から8分位で見学できますのでゆっくりと観梅を楽しんでいただくのも旅の一つではないでしょうか。



どうぞよろしく

統計指導担当主査
亀谷 一郎

自己紹介を兼ねて統計いばらきに寄稿を、との依頼があり、しみじみ考えて見ると、紹介できないことがないので困りました。ただ若い頃から下手な横好きで将棋を少々指します。これがまた、ちょうど平均的(より下)な棋力なので気安いか、将棋仲間が多勢おり、楽しく交際させていただいております。趣味というものは人それぞれの個性が出るものですが、将棋のような勝負事は特に性格が強調されるところがあり興味のつきるところがありません。さて、私は統計課には約20年程前に勤務させていただいたことがありますが、当時とは業務の内容、調査結果の集計方法等すべて大差があるようです、全くの新入生ですので、皆様のご負担になることが多々あると思っておりますがよろしくご指導をお願いいたします。行政資料室にはまだ短期間の勤務ですが、貴重な、かつ膨大な資料が整然と保管されてお

り、現在までの関係者のご苦労がしのばれました。また、毎日閲覧者等がこれ等の資料を有効に利用していることを知り、統計の重要性をことさらに痛感しております。



梅、そして桜の頃

統計指導担当係長
滑川 すみ子

きびしく長かった寒さもやっと去り、やわらかな春の陽ざしが嬉しい季節に統計課にお世話になることになりました。統計課の窓から眺められる弘道館には例年なら控えめにチラホラと咲き始める梅が今年はなかなか開けずにいたのにここのところの暖かさで一気に咲き揃ったという感じでした。

こんなに見事な満開の梅をしかも長い期間楽しめたのは久しぶりのような気がします。間もなく桜も咲くことでしよう。今年は梅と桜を同時に楽しめそうな気配です。

さて、統計という国勢調査がすぐに思い出されます。調査員さんが一戸毎に大きな用紙を配り、また回収し点検するのでしょうか。そして更に集計や分析がなされ、いろいろな統計ができることを考えますと関係者の努力やご苦労は並々ならぬものと思われまます。

私の所属するグループは、通常は直接調査統計にはタッチしないようですが、統計教育等を通じて統計調査がさらにスムーズにできるような環境づくりにいくらかでもお役に立てればと存じます。



遅咲きの桜に寄せて

企画分析担当主事
木村 光悦

例年のない気象条件のため、桜の花はまだ完全に蕾みであった。この時期、統計課へ異動することとなった。

統計の専門的な意味について全くの無知であったので、早速、統計学の入門書を読んでみたら、「統計学とは平均の学である」という言葉がでていた。そして、与えられた仕事の作業をすすめていくうちに、統計には推計という概念が大きな位置を占めている、と思うようになった。その推計の方法、あるいは加工・分析の手法について学ぶべきことが私のキャパシティ以上にたくさんあるようだ、と感じているこの頃である。

さて、前課(地域整備一課)では、地域開発ということが仕事のテーマであったが、例えば地域の将来像を描くといったケースについて、基礎データを十分に加工・分析できなかったために、定性分析が主となり、その適否については合理的な検証ができなかったのではないかと考えてい

る。

上のようなケースにおいて、定量的な検討を加えることができれば、統計課の仕事は県行政施策展開のために不可欠で有力な手段となるのではないかと思える。

というようなことなどを、まだ職務の内容をよく知らないままに考えてみたのですが、今年の桜のような奮みの私（桜ほど綺麗な花は咲きませんが）ですので、先輩諸兄（姉）のご指導をよろしくお願い申し上げる次第です。



転勤にあたって

企画分析担当主事
藤田 昇

4月の定期異動で、今回初めて本庁勤務になりました。今までは出先機関にいて自分なりに経験をいろいろしてきたつもりでしたが、初めて経験する統計課の業務……、何をどのようにやって良いかわからず、先輩に迷惑をかけている毎日です。まだ1ヶ月もたっていないので仕事については何も分りませんが、ただ非常に大切で重要な仕事であることだけは分ったような気がします。こんな私にできるかどうか不安ですが、失敗をおそれず精一杯頑張りたいと思っています。また、当統計課は、スポーツの好きな人が多いとのこと。本来スポーツが好きなので、可能なかぎり参加して汗をかいていきたいと思っています。



日々感謝の気持で

人口労働担当係長
小沼 志郎

今回の定期異動により統計課へ勤務することになりました。よろしく願いいたします。

先日鹿島町へ出張した帰途、旭村あたりで下校途中の小学生の団に出会いました。トラックに止まってもらって横断歩道を渡るところでした。5～6人の児童が皆きちんと手を上げて足早やに渡り終わりました。見ると、子供達は一列に並んで、止まっていたトラックの運転手に向かって、「ありがとうございます。」と挨拶をしていました。単なるこれだけのことですが、私達は日常生活のうえでも、仕事の面においても、人に対する思いやり、感謝の気持が薄れているのではないだろうかと思われました。

これから新しい仕事に取り組んで行くこととなりますが、常に思いやり、感謝の気持を忘れずに、4月の大気のような新鮮な気持で精一杯頑張っていく考えです。

統計については、前任の教育庁で教育関係の調査統計を担当していましたが、改めて、その意義の深さ、重要性を認識して仕事を進めていきたいと考えております。

新しい仕事に対する不安、不慣れから皆様にいろいろとご迷惑をお掛けすると思いますので、よろしくご指導願います。



陶 酔

人口労働担当主事
木村 守

自分の趣味は？と考えてみると、夏における鮎の友釣りという衝動的に買い集めた安物の盆栽だろうと思われれます。

おとり鮎を通して伝わる川底の状態を思い鮎との格闘が始まる。静かに静かにおとり鮎を泳がせ鉤掛かりを持つ。「ガッソ！」とくる急激な引き。これからが他の釣りには無い友釣り独特な取り込みであります。掛かり鮎は鉤から逃げようと下流へ進み、肉切れを避けるため、一緒に下りながら浅瀬に寄せて網で取り込む方法で、今年も解禁日が来るのを心待ちしています。

また、盆栽は、現在観賞できるようなものは無く、将来なんとか観賞できるようにと、暇にまかせては針金を巻いています。始めのうちは、何度も失敗をして大事な枝を折ってしまった事もありました。

釣り、盆栽とも、その持っている性格、性質を理解しなければ、良い成果は得られないので、仕事においても内容を理解し、一日も早くご迷惑をおかけしないようにしたいと思っています。



このごろ思う事

人口労働担当主事
菅谷 昌英

わからない……。

それが今の状況でしょう。外は季節はずれの春まっただ中で、県庁の桜もみごとに満開です。

しかし、それとは別に、今回の人事異動に関連して、思ったことは、県職員、特に、事務屋さんにとって（さらに若い事務屋さん）、異動は恐怖または期待いろいろの気持です。知事部局だけでも、8部、その他に、教育庁、各種委員会…とあって、そのどこにも行くことができますし、行かされる可能性があります。したがって、前でした仕事とは180度、全く、異なる仕事に就くことが多いといえますし、現実には多くの例をみました。

私もそれにもれなく、今回が3箇所目となりました。最初が水道屋さんで、次が道路屋さん、そして、今度が計算屋さんということです。ある意味では全く、関連性がないようにみえます。

仕事については適務があると思いますが、それが、ま

〈39頁へ続く〉